

国語 一般選抜(前期) 解答例

- 問一 ①診断 ②ひんばん ③扉 ④あんど ⑤節 ⑥象徴 ⑦ひょうし  
⑧ぐんばい ⑨ざせつ ⑩完璧 ⑪ぐう ⑫駆使 ⑬かつとう ⑭懸念

問二 A むしろ B たとえば C つまり D あるいは E しかし

- 問三 ① ○ ② × ③ × ④ ○

問四 他人とそつなく無難に会話したり、集団のなかで波風を立てないようにふるまった  
り、慣れない新しい人間関係の扉を開いたりするようなコミュニケーションに関わる  
事柄に苦手意識があり、大変なストレスを感じていること。(一〇二字)

・文中の言葉を用いながら「生きにくさ」が説明されていること。

問五 会社説明会や面接の場で「即戦力」であることを求められ、教育現場において新人  
教員が経験のある教員と同じような役割を求められ、コーヒーショップのアルバイト  
店員にも完璧な接客が期待されるような社会。(九六字)

・文中の『できないこと』を許さない社会の事例が用いられていること。  
・社会が人に対して求める・期待することが言及されていること。

問六 この文章を読んで、「発達障害」という言葉を用いて、自分の苦手なことや「できな  
いこと」を自覚し、その理由を説明することは、「できないこと」を許さない不寛容な  
社会を生き延びるために必要なことであると理解できた。また「できないこと」の理  
由や事情が理解され許容されるようになれば、「生きにくさ」を抱えた人たちが他者と  
の関係性を築くチャンスとなり、多くの人が生きやすい寛容な社会になると思う。

(一九一字)

・表記、字数が適切であるか。  
・内容(問題文を良く読んで、著者の意図を汲み取り、文意に沿って考えているかどうか)